

神から始める

シリーズ～さよならキリスト教～
2024/1/1 元旦礼拝

「さよならキリスト教」の意味

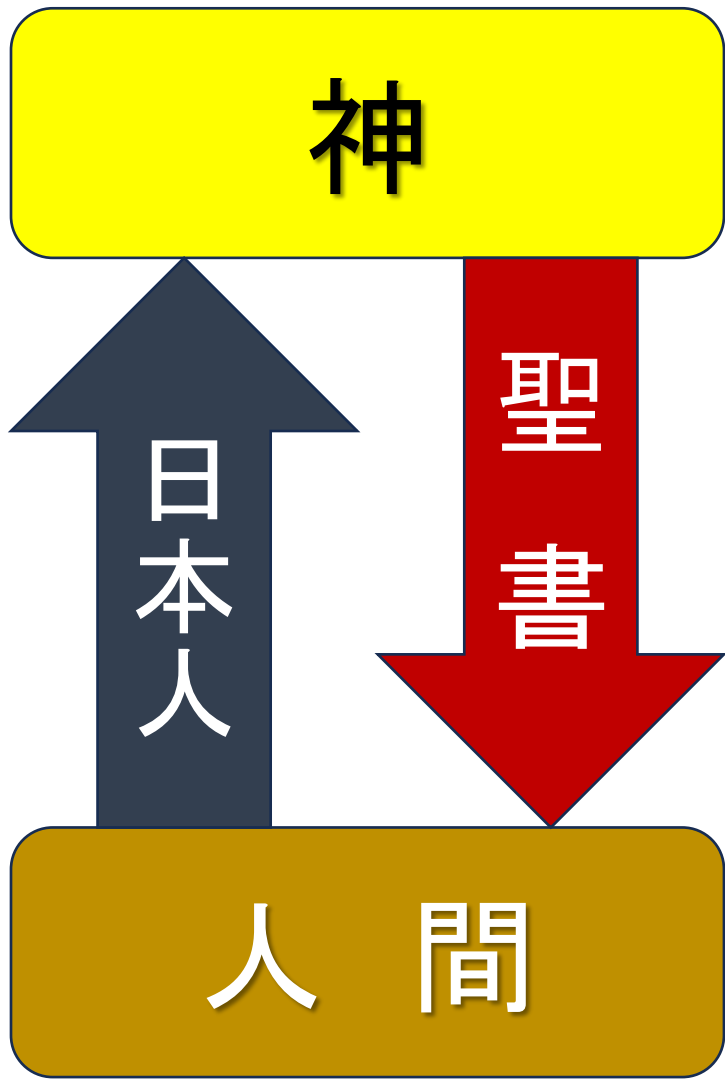
- このまま行くと日本から「キリスト教」がなくなってしまう
 - 減少していくクリスチャン人口0.5%以下？
 - 減少していく教会(コロナの3年間で約1000の教会が閉鎖あるいは合併された:全体の1/7)
 - 高齢化(牧師の平均年齢が70歳を超えている)
- 聖書の真理を失われてはならない
 - この国に「キリスト教」が根付かなかった理由を考えることで、どうすれば聖書の真理を正しく伝えることができるか見出したい！

神が望んでおられる事

神は、すべての人々が救われて真理を知るようになることを望んでおられます。神は唯一であり、神と人との間の仲介者も、人であるキリスト・イエスただおひとりなのです。この方はすべての人の贖いとして御自身を献げられました。これは定められた時になされた証しです。

テモテへの手紙一 2章4～6節

どちらから始めるか



人から始まる日本人

- 人のために神は存在する
 - 日本人は「神」が大好きである
 - しかし、日本人にとっての「神」とは、自分の願いをかなえてくれる召し使いに過ぎない
 - 「困った時の神頼み」
 - 学問・商売繁盛・交通安全・縁結び・安産…
- 神と人間が連続的につながっている
 - 神道においては死んだら神になる
 - 「山はどこから登っても頂上は同じ」という宗教観は、「信じる気持ち」こそが大切だという信仰

「絶対他者」としての神

• 神と人との関係性

- 神は「人や世界に対して**絶対的に異質で独立する超越的存在者**（広辞苑）」でなければならない
- 人間の延長線上に神はいない！
- 人間のために神が存在しているのではない

• 「創造主」を認めない日本人

- 日本人は、神々は大好きだが、創造主を認めないので、結局「唯物論＝無神論」者である
- なので「進化論」も何の抵抗もなく受け入れてしまう

神から始まる聖書

- 聖書の主語は神（創造主）である

- 「初めに、神は天地を創造された。」創世記1:1
- 神から始まっている

- 神と人との絶対的な違い

- 神は創造主であり、人は被造物に過ぎない
- 神は被造世界に関わる、人が神に近づくことは決してない

- 神のために人は存在する

- 神の願いをかなえることが人の目的である
- 「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。」

「罪」が分からない日本人

- 「罪」とは被造物が創造主に背くこと
 - 創造主を無視することこそ「罪」
 - 創造主が罪を赦す権利を持っている
- 日本人にとっての罪とは自分に不都合な出来事を起こす悪行
 - 「祓い(はらい)清める」ことでなくなる
 - 仏教の「煩惱」も人間の苦しみの原因となる心の汚れなので、日本人に受け入れやすい

「大逆転」を起こすために

- 日本人が聖書を受け入れるためには、そもそもその発想の転換が必要である
 - 人から始めるのではなく、神から始める
- 私たちがまず真理に立ち、真理に生きることを始めなければならない
 - 「神」を主語にする生き方
 - 「御名を崇めさせたまえ 御国を来たらせたまえ 御心の天になるごとく 地にもなさせたまえ」
- 人から始める「キリスト教」にさようなら！
 - 自分のために信じていないか？